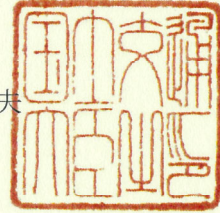


認定書

国住参建第 188 号
令和 5 年 6 月 30 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 加藤 敬太 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0581-1
2. 認定をした構造方法等の名称
排水管・排水用鋳鉄製継手／外層付ロックウールシート材・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

排水管・排水用鋳鉄製継手／外層付ロックウールシート材・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ209mm以下)
	面積	0.0343m ² 以下
占積率 (開口面積又は鋼製スリーブ外径の面積に対する配管の断面積の割合)		73.6%以下
貫通する床の構造		鉄筋コンクリート造 厚さ 150mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様		
防振シート	材料	仕様：あり又はなし		
		外層付ロックウールシート材		
	寸法	幅：200mm以上、総厚さ：12.9(±1.5)mm以上		
	本体	材料	①、②及び③(3層) ①内層：ポリオレフィン系不織布付ロックウールフェルト ②中間層：ロックウールシート ③外層：アルミニウム・ガラスクロステープ(接着剤付き)	
		密度	①内層：0.25g/cm ³ ②中間層：0.8g/cm ³	
		寸法	①内層厚さ：10.6(±0.8)mm ②中間層厚さ：2.1(±0.7)mm ③外層：0.2mm以上	
	接着剤 (外層用)	材料	酢酸ビニル樹脂系	
塗布量		60(±20)g/m ²		
充てん材	材料	セメントモルタル		
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	25	
		砂	75	
	使用量	隙間を密に充てん		

表3 管の仕様

項目		仕様		
排水用鋳鉄製継手		種類	受けロタイプ	
		材料	本体：ねずみ鋳鉄品(JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂粉体塗装 ゴムパッキン：EPDM(立て管上部、横枝管部、立て管下部)又はNBR(立て管下部) 押し輪(金具一体型) 本体：球状黒鉛鋳鉄品(JIS G 5502) 金具：ばね用ステンレス鋼線(JIS G 4314) 寸法：φ3.5mm以上 留付材：ボルト 寸法：M10以下	
		寸法	外径：φ150mm以下、内径：φ140mm以下	
排水管 (立て管)	被覆材付黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管	被覆材	材料	仕様：あり又はなし 無機質充てん材混入ポリオレフィン系樹脂 (国土交通大臣認定 PS060FL-0503で認められた被覆材)
			寸法	外径：φ130mm以下、内径：φ117mm以下 厚さ：1.5(±0.5)mm(円筒部) ※リップ高さ：4.0(±0.5)mm、リップ幅：2.5(±0.5)mm
			密度	1.3(±0.2)g/cm ³
		仕様箇所	排水管(立て管)の外面に被覆	
	内層管	材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし外径及び厚さはJIS K 6741に規定する寸法)	
		寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下	
排水管 (横枝管)	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管	材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし外径及び厚さはJIS K 6741に規定する寸法)	
		組成(質量%)		
		寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下	
	硬質塩化ビニルライニング鋼管	種類	硬質塩化ビニルライニング鋼管(日本水道鋼管協会規格 WSP-042)	
		材料	外管：配管用炭素鋼管(JIS G 3452の機械的特性に準拠) 内管：硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741又はJIS K 6776の機械的特性に準拠)	
		寸法	外径：φ114.3mm以下、内径：104.7mm以下	
	排水用鋳鉄管	材料	排水用鋳鉄管(JIS G 5525)	
		寸法	外径：φ114mm以下、内径：φ100mm以下	
	耐火二層管	外管	種類	耐火二層管
			組成(質量%)	普通ポルトランドセメント 70(±10) 無機質混和材・軽量骨材 25(±5) 有機質繊維 5(±1) ただし、 無機質混和材：炭酸カルシウム、石灰質、けい酸質繊維 軽量骨材：パーライト、凝灰岩系天然ガラス 有機質繊維：セルロース、パルプ、合成繊維
			寸法	外径：φ129mm以下、内径：φ116mm以下
内管		材料	種類：①～④ ①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741)(VP、VU) ②水道用硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6742)(VP) ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776)(HT) ④リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798)(RF-VP)	
		寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下	

4. 副構成材料の仕様：
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
施工用テープ	材料	アルミニウム・ガラスクロステープ(アクリル樹脂系接着剤付き)
	寸法	厚さ：0.2mm以上、幅：50mm以下
	使用箇所	防振シートの上・下端部及び縦目地部
隙間テープ	材料	仕様：あり又はなし ポリ塩化ビニル樹脂テープ(合成ゴム系接着剤付き)
	寸法	厚さ：0.4mm以下、幅：50mm以下
	使用箇所	必要に応じて、排水用鋳鉄製継手と立て管の接合部
鋼製スリーブ (開口部補助材)	材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①鋼製(めっき処理品含む) ②ステンレス鋼製 ③鋼管(JIS G 3444又はJIS G 3452)
	寸法	外径：φ209mm以下 長さ：100mm以上(床厚) 厚さ：0.5mm以上
	使用箇所	必要に応じて、鋼製スリーブ(開口部補助材)を使用してもよい。 (ただし、コンクリート打設後の後付け施工は除く。)

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1～図3に示す。

単位 mm

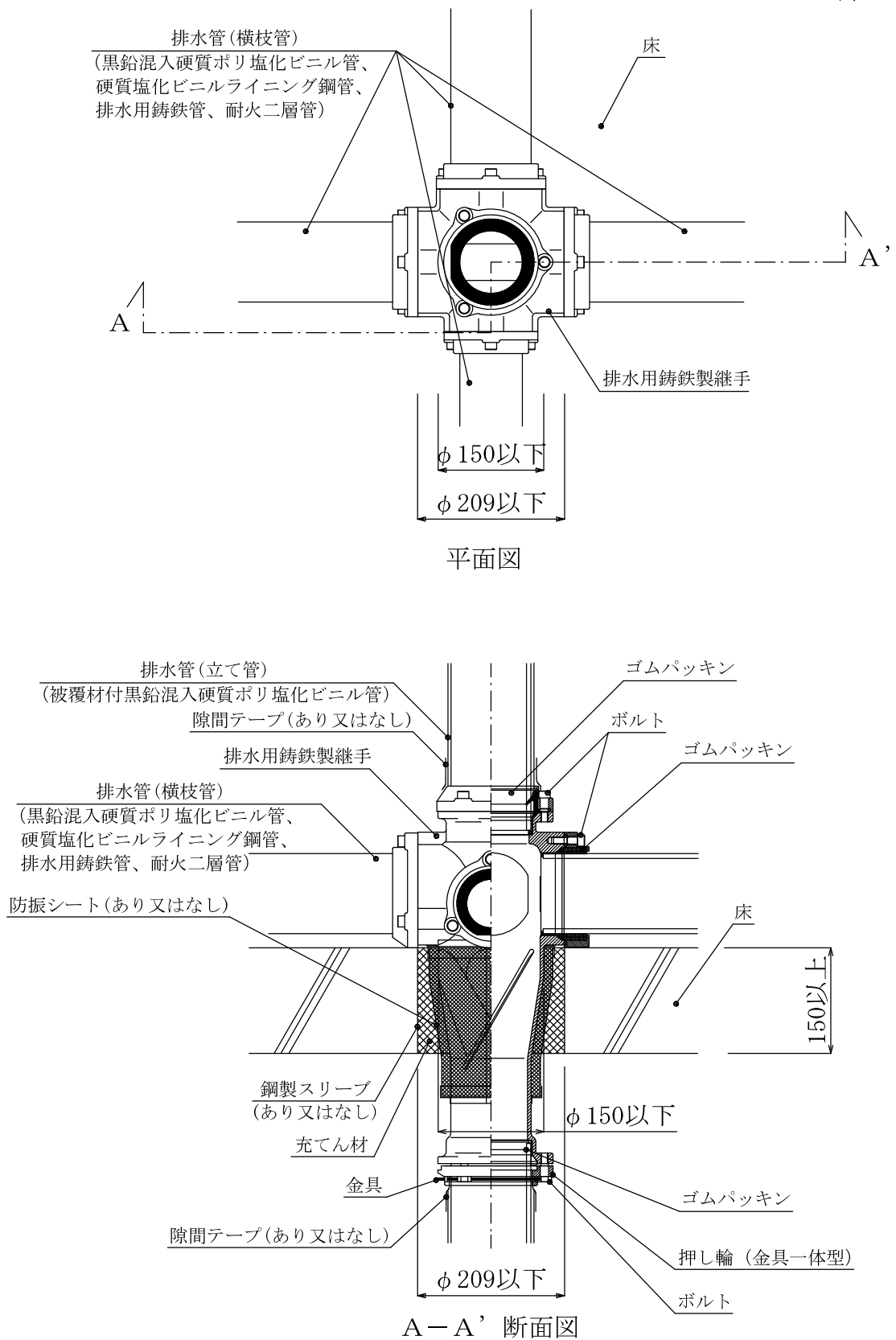
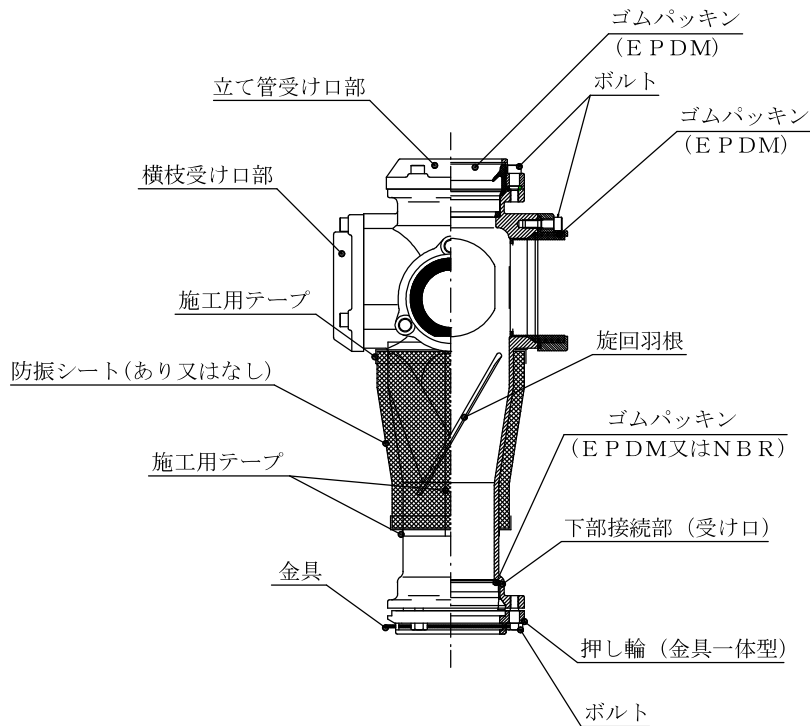
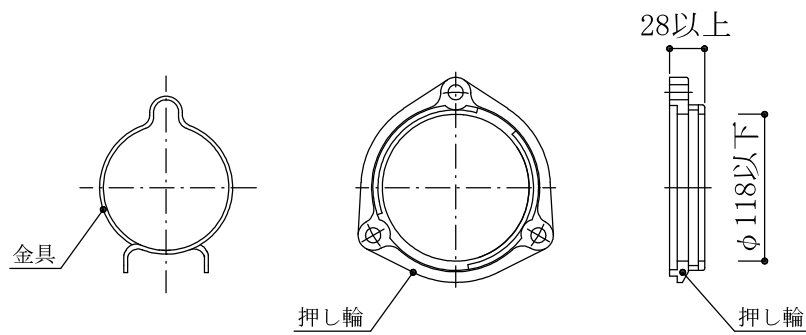


図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



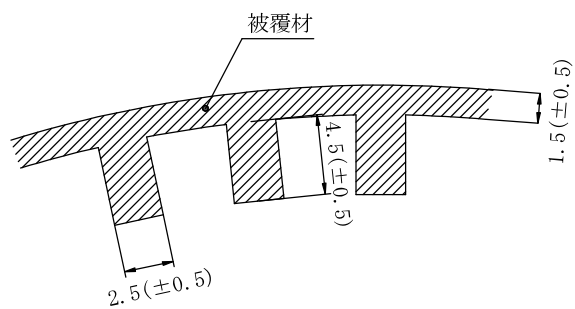
排水用鋳鉄製継手詳細図



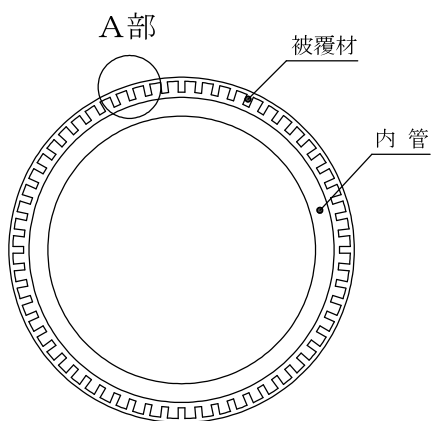
押し輪詳細図

図2 構造説明図

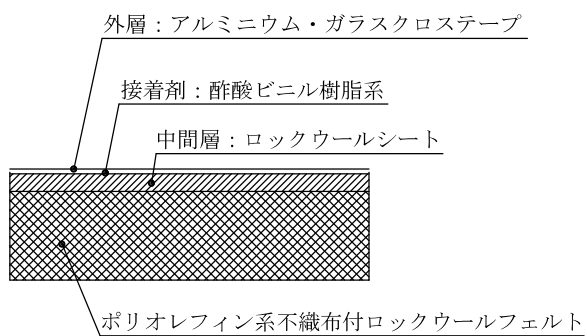
単位 mm



A部詳細図(被覆材)



被覆材付黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管の詳細図



防振シート詳細図

図3 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積又は鋼製スリーブ外径の面積、管の寸法、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 防振シートの巻き付け(防振シートを用いる場合)

防振シートを所定の長さに予め裁断する。防振シートの上端が開口部上面にほぼ一致するように、排水用鋳鉄製継手に巻き付ける(施工上の必要に応じて、防振シートの上端が開口部の上面から露出してもよい)。

巻き付けの初端と終端は、隙間なく巻き付け、施工用テープのアルミニウム・ガラスクロステープにて貼り合わせる(オーバーラップしてもよい)。

(3) 排水用鋳鉄製継手と防振シートの固定

防振シートの上端部及び下端部に施工用テープのアルミニウム・ガラスクロステープを巻き付けて、排水用鋳鉄製継手に固定する。

(4) 排水用鋳鉄製継手と管の接続

排水用鋳鉄製継手の上下接続部に排水立て管を接続する。また横枝管接続部に排水横枝管を接続する。なお必要に応じて、排水用鋳鉄製継手と立て管の接合部に隙間テープのポリ塩化ビニル樹脂テープを巻き付ける。

(5) 開口部の埋め戻し

排水用鋳鉄製継手を所定の位置に設置し、開口部の下部に板等を用いて仮押えし、開口部にセメントモルタルを密に充てんする。